

# Toho

東邦キャンパス

# Campus



vol.131  
2019年(令和元年)7月 発行

発行 学校法人 東邦学園 〒465-8515名古屋市長東区平和が丘三丁目11番地 TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

HP [東邦学園](#) [愛知東邦大学](#) [東邦高等学校](#) [検索](#)

## 東邦が平成最初と最後飾る選抜最多5回目V



優勝を決めマウンドで喜び合う東邦ナイン

目録

第91回選抜高校野球大会で東邦高校は4月3日に行われた決勝戦で習志野高校に6-0で快勝し、平成最後の大会での優勝を飾りました。平成元年の4度目の優勝以来30年ぶりの栄冠で、中京大中京高校と並んでいた優勝回数は単独最多の5回。平成最初の優勝時は阪口慶三監督のもとでコーチを務め、「平成最後の優勝も東邦で」と言い続けた森田泰弘監督は選歴前日の悲願達成に「果報者です。東邦の伝統に新たな歴史を刻むことができました」と喜びを語りました。

おめでとう  
東邦高校V

# 「脚本書いたのは野球の神様？」

東邦高校「平成最後」の優勝に5月18日に開かれた2019年度東邦会代議員会は祝賀ムードに包まれました。会場の名古屋ガーデンパレスでは「平成最初」の優勝メンバーによる「特別座談会」も企画されました。会場で喜びの声を集めました。



## 強い決意で勝ち取った優勝

野球部長の小嶋裕人さん(東邦高校教諭)  
2010年から野球部長をやらせていただいています。優勝できたのはもちろん子ども達の頑張りが一番です。そこに森田泰弘監督の「優勝する」という強い思いが加わったからだと思っています。私も「何が何でも優勝したい。甲子園のマウンドで選手達が監督を胴上げする姿が見たい」と必死に頑張ってきました。甲子園で勝つためにはチームを後押しする風が必要です。今回は多くの話題がありました。平成元年優勝に続いて平成最後を優勝で締めくくれるか。元年戦士の子が部員にいる。大阪桐蔭高校吹奏楽部の素晴らしい友情応援。本校マーチングとのコラボ応援。いろいろな話題がありました。東邦アルプススタンドはいつも満員でした。本当に大勢の方に足を運んで頂き、ありがとうございました。皆様のお陰で全国制覇できました。『感謝』です。



## 30年前に比べ迫力満点の優勝

平成元年優勝チームのマネージャー  
袴田克彦さん(41回生、東邦学園職員)  
「平成最初」の優勝メンバーによる特別座談会「平成最初と最後の甲子園優勝～東邦の快挙の裏側にあるもの～」に駆けつけてくれたのは当時選手だった山田喜久夫、森博昭、村田将之、河井啓男、大矢渉、石川尋貴の皆さんです。

これが(左下写真)石川キャプテンが受け取った優勝旗です。昨年まで大阪桐蔭にありました。それが30年ぶりに東邦高校に返ってきました。

私たちは平成元年春、甲子園で皆さんに応援をいただき優勝できました。17歳で甲子園に出て30年が過ぎ47歳になりました。当時の映像と今回の映像を比較しながら振り返っていただければ分かるように、我々の優勝はヨタヨタでした。それに比べれば、今回がいかにスムーズで迫力満点の優勝だったかが分かります。



## 「令和元年」もぜひ連覇を

平成元年優勝投手 山田喜久夫さん  
(41回生)  
平成最初と最後を優勝できてうれしい。卒業生も含めたくさんの東邦関係者に喜んでいた

# 東邦会で喜び爆発

だけだと思います。今回の優勝は全員の力の結集だと思います。ぜひ「令和元年」も頑張って連覇してほしい。春夏連覇は東邦にしかないチャンスですから。



## 息子たちは強い意志で頑張った

石川昂弥選手の父 石川尊貴さん  
(41回生、平成元年野球部員)

甲子園の決勝戦応援席では泣けてはきませんでした。こらえ切れずに泣いたのは昨年秋の東海大会準決勝での中京学院大中京戦と今回の甲子園準決勝で明石商業に勝った時。東海大会では5点差とがけっぶちの9回裏に追いつき大逆転勝ちでした。息子たちは、絶対に優勝するんだという強い意志を持ってやってきました。チームワークのよさも見事でした。



## 感慨深い同窓会さながらの応援

平成元年野球部メンバーの大矢渉さん  
(41回生)

「平成最後」でも後輩たちが頑張ってくれてこんなにうれしいことはありません。決勝もアルプススタンドで応援させてもらい感動しました。昔を思い出しながら、後輩たちの雄姿が目の前で見えました。自分がやっていた時も思い出しながら、たくましい後輩の姿も見れて本当にうれしかった。マネージャーだった袴田君が「仕事そっちのけで来い」と声をかけてくれ、同級生のほぼ全員がアルプススタンドに集合しました。同窓会をしながら応援したという感じで非常に感慨深かったです。



## 石川投手の活躍は戦後初出場から60年

戦後甲子園に初出場した時のエース  
山本雅己さん(11回生)

本当にうれしいです。全国で5回日本一。そんな学校はないですから。東邦高校の戦後甲子園初出場は第31回選抜大会(1959年)。1回戦は倉敷工業に10-3で勝ったんですが、2回戦で長崎南山に0-1で負けました。ただ、3年連続で甲子園に出て、その後につなげたという点でちょっとはいい先輩だったかも知れない。我々の10年後輩が、今、愛知東邦大

学で野球部監督をしている横道政男君。20年下が夏の甲子園準優勝投手の坂本佳一君。30年下が平成元年優勝投手の山田喜久夫君。40年下がドラゴンズコーチの朝倉健太君。そして60年下が今回の優勝を引っ張った石川君です。「10年おきにいいのが出るなあ」と思っております。



## 準備されて成し遂げた優勝

神直樹理事長・学長

奇跡というのは自らは及ばない力によって起きるものですが、本当に起きるとは思いませんでした。優勝した瞬間、涙は出ませんでした。平成最初の時のような、ああいう劇的逆転なら涙が出ると思いますが、こんなに涙が出ないような優勝というのはめずらしいことでしょう。実はありとあらゆるものが、きちっと準備されて成し遂げた優勝という意味では、奇跡ではなくて、十分起こり得る優勝だったなと思いました。



## 甲子園の魔物に立ち向かった森田監督

元理事長、校長の伊藤時雄さん

平成元年、私は東邦高校の学年主任でした。15クラスあり私が普通科主任で、担任の1人が藤本校長です。袴田君、山田喜久夫君、石川君のお父さんとかその他の選手は全部1年生の時から知っています。きょうはその教え子たちにも会えとても懐かしかったです。優勝に照準を合わせて勝ち進んだ監督の森田君の意気込みも伝わってきました。言葉では説明できないですよ。前監督の阪口先生もよく「甲子園には魔物が住んでいる」と言っていたのですが、何が起こるか分からない中で、森田監督が、「絶対に平成の最初と最後を締めくくる」という心意気を実現させたのは、めぐりあわせもあるとはいえ、努力と声援があつてのことだと思います。私は涙を流しました。(2003年から2008年まで理事長、1995年から2000年まで校長)



## 校長としてすばらしい初仕事ことができました

藤本紀子校長

校長としての初仕事は優勝の報告だったというのが大きな喜びです。すばらしい経験をさせていただきありがとうございました。校長に着任し、甲子園には3回戦から3試合行きました。感動をありがとう。



## 甲子園 5 試合を完投応援

前校長の佐々木泰裕さん

今回の甲子園は5試合全部応援に行きました。私も完投応援です。校長時代は4年間で4大会(春3回、夏1回)を応援しました。2016年のセンバツでは、2回戦の時、理事長も私も行けない時に敗れました。「来ないから負けるんだ」と言われ、悔しかったです。OBの人たちはいつも一生懸命応援してくれる。ありがたいと感じています。その感謝の意味をこめて、とにかく球場に駆け付けるんだという思いでした。(2015年から2019年まで校長)



## 元年に比べ余裕もって見れた

元校長の久野秀正さん

平成元年優勝の時は校長で本当にうれしかった。僕は88歳になるが、きょうはあの当時のことがよみがえってきました。今のチームはあの時より数段強いですね。平成元年の時は本当に何が起こったか分からないうちに優勝した感じでびっくりしました。今回は余裕もって見ていられました。(1984年から1991年まで校長)



## 同窓生たちには大きな励みに

東邦会会長 高山仁惣さん(23回生)

現役の生徒たちの活躍は本当に元気をもらえる。ありがたい。テレビに映った選手たちの一挙手一投足は、これまでも実社会で戦う同窓生たちにたくさん励ましをくれました。「後輩たちがこんなに頑張っているのに、一体自分は何してるんだろう」と奮起して復活したという話は少なくありません。選手の皆さんのおかげで、またどこかで、胸を張ることのできた卒業生がいるはず。「本当にありがとうございます」に尽きます。



## 東邦高校卒業生でよかった

東邦会関東支部長 立浪耐治さん  
(立浪親方。元旭豊で本名は市川。38回生)

テレビで校歌を何回も聞かせてもらったのはうれしかったです。勉強は忘れていても校歌だけは覚えていました。私も準決勝は甲子園に出かけて応援しました。東邦高校卒業生でよかったとしみじみ思いました。



## 野球の神様が書いた脚本ですかね

硬式野球部OB会会長 大橋伸治さん  
(26回生)

平成元年と平成最後の優勝と、新聞にもドラマチックと書いてありましたが、誰が脚本を書いたのでしょうか。野球の神様でしょうかね。OB会長として全試合を甲子園で応援しました。10日間はずっと大阪の方にいました。大変でしたが、こんな幸福な大変さなら毎年でもいいですよ。うれしい悲鳴です。



## 森田野球の集大成

硬式野球部後援会長 浅野佳伸さん  
(13回生)

今回は1回戦から5回戦まで全部、応援バスで甲子園に駆け付けました。投打に活躍した主力も素晴らしかったですが、これは全員野球、森田野球の勝利だと思いました。森田野球の集大成だとも思いました。森田監督にもいい意味の区切りとなる優勝に拍手を送りたい。選手諸君もこの金字塔を大切に人生を歩んでほしいです。

## 戦中世代は経験できなかった優勝祝い

東邦商業学校19回生 岡島貞一さん  
(1945年3月卒、東邦辰巳会代表)

我々の年代は戦時中であり、甲子園大会そのものが中断されていました。野球部もないようなものでした。もちろん、甲子園での優勝をこんなに盛大に祝うなど経験したことがありません。若い方々がこうやって一生懸命やっておられる。おまけに、皆さんの話を聞いていると平成最初と最後の優勝だけでなく「令和最初」という注文ですから、若い方は大変だと思います。しかし、頼もしい先輩がたくさんおられるのでぜひ頑張ってください。



平成最初と最後の優勝旗とカップとともに

# 実り多かった大阪桐蔭高校とのコラボ応援 『極上の音』と競演

マーチングバンド部顧問 白谷 峰人



私たちが応援に駆けつけることができるのは帰国後、準決勝と決勝のみ。何とか勝ち進んでもらい甲子園で応援したい！そんな願いをこめてフロリダへ出かけました。日本とフロリダの時差は13時間。試合翌日の朝にネットで試合結果を確認する日もありました。フロリダ遠征を終え東邦高校に帰ったのは3月31日の深夜2時でした。

そして、ついに、夢にまで見た大阪桐蔭高校吹奏楽部とのコラボ応援が現実のものとなりました。準決勝でのコラボ応援開始。普段とは違う「極上の音」が真横から聞こえてくる中で違和感なく応援演奏をすることができました。大阪桐蔭の教頭先生からは、「東邦さんが合流したことで音も動きも何かピリッと引き締まった」という嬉しいお言葉もいただきました。

さらに感動したことがありました。大阪桐蔭高校野球部といえば甲子園で2度の春夏連覇をしている名門校。友情応援は実現しましたが、当然のことながら、自分たちの学校が出場できなかったことは悔しいだろうし、同じクラスに野球部の友達もいる。そんな状況で「We are TOHO」なんて声を出してくれるだろうか。しかし、2回戦からは校歌も一緒に歌ってくれたということも聞き、実際に大阪桐蔭高校吹奏楽部の部

員さんたちみんなが、応援演奏しながら一喜一憂している姿を目の当たりにして、不安や心配は一気に吹き飛びました。

そして習志野高校との決勝戦。メディアも応援対決に注目する中、東邦の優勝！プラスバンド席では優勝の喜びを分かち合う両校部員たちの姿がありました。肩を組んで校歌を歌いながら、東邦野球部の勇姿を心の底から誇らしく感じた瞬間でした。

決勝後、球場前の高架下で、楽器を積み込み、大阪桐蔭高校吹奏楽部さんとの最後の対面。決勝の相手であった習志野高校吹奏楽部の皆さんも合流し、3校で労をねぎらい合いました。そして夏の甲子園での再会を願い、今回の友情応援は幕を下ろしました。

友情応援を快く引き受けていただいた大阪桐蔭高校吹奏楽部の梅田隆司先生をはじめ部員の皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。短期間でしたが一流のバンドと過ごしたことで、私たちが得たものは大変大きく実りあるものでした。そして、最高の舞台で「優勝」という瞬間に立ち会わせてくれた東邦高校硬式野球部のみなさんに感謝いたします。



「おめでとうございます」「ありがとうございました」

## 平成最後の優勝を決めた5試合

1回戦(3月26日)										
富岡西(徳島)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
東邦	0	0	1	0	0	0	2	0	X	3
2回戦(3月29日)										
東邦	2	0	4	0	0	0	3	3	0	12
広陵(広島)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
準々決勝(3月31日)										
東邦	0	0	0	2	0	5	0	0	0	7
筑陽学園(福岡)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
準決勝(4月2日)										
明石商業(兵庫)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
東邦	0	0	0	0	0	0	3	1	X	4
決勝(4月3日)										
習志野(千葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東邦	3	0	0	0	2	0	0	1	X	6





## 東邦高校に初の女性校長 藤本紀子校長が就任



東邦高校の新校長に2019年度、初の女性校長として藤本紀子校長が就任しました。3月で定年を迎えた佐々木泰裕前校長の後任として4月1日に就任。愛知県私学協会によると愛知県内の私立高校55校中、共学校での女性校長誕生は初めてです。

藤本校長は愛知県立大学文学部国文学科卒で教科は国語。東邦高校が愛知県内の私立高校では初の男女共学に踏み切った翌年の1986年4月、一般教員としては2人目の女性教員として奉職しました。

東邦高校の2019年度教職員は152人で、非常勤も含めた教員128人中、女性教員は48人(37.5%)。藤本校長は「私の奉職時は養護の先生を入れても女性教員は4人だけでしたから、当時に比べれば大きな違いです」と振り返りながらも、「教員の場合、幸せなことかも知れませんが仕事の面だけを言えばほとんど男性、女性を意識することなく働けます。女性であることをマイナスに考えたことはありません」と話しています。

藤本校長は5月18日に開催された東邦会代議員会で、同窓生会員たちに就任のあいさつ。「文部科学省は、明治以来の教育改革として、高校教育の大改革に着手しており、高校教育も大きく変わろうとしています。改革の根底には、これから日本という国が、世界の国々と肩を並べて互角にやっていくために必要な力を求める社会、時代の要請があります」と指摘しました。

そのうえで藤本校長は、これから教員に求められる役割について、「今までのように、

知識を授けるというだけではなくて、学びの支援者として、生徒たちに主体的に考えさせ、自分で課題を見つけ自分で解決するという経験をさせる役割に変わろうとしています」と強調しました。

藤本校長のプロフィール、新校長としての抱負は愛知東邦大学ウェブサイト「TOHOインタビュー 藤本紀子」で検索してください。

### 東邦高校の歴代校長

(4代までは旧制東邦商業学校)

初代	大喜多寅之助	1923年～1934年
2代	下出 義雄	1934年～1941年
3代	隅山 馨	1941年～1946年
4代	尾崎 久弥	1946年～1948年
5代	下出 貞雄	1948年～1960年
6代	坂倉 謙三	1960年～1965年
7代	平岡 博	1965年～1970年
8代	浅井 静男	1970年～1984年
9代	久野 秀正	1984年～1991年
10代	則川 昌常	1991年～1995年
11代	伊藤 時雄	1995年～2000年
12代	新川 裕士	2000年～2003年
13代	高井 茂雄	2003年～2009年
14代	榎 直樹	2009年～2011年
15代	長沼 均俊	2011年～2015年
16代	佐々木泰裕	2015年～2019年
17代	藤本 紀子	2019年～

## 「音楽の力」を体感したフロリダ遠征

マーチングバンド部部长 伊藤 結芽(普通科3年生)



私たち東邦高校マーチングバンド部は東邦学園の公

式バンド「TOHO MARCHING BAND」のメンバーとして3月21日から30日までの10日間、米国フロリダ州に遠征しました。初めての海外ということもあり、長時間のフライトを経てフロリダに着いた時はこれから過ごす10日間への期待と緊張でいっぱいでした。

現地ではウォルトディズニーワールドやユニバーサルスタジオオーランドの公式パレードへの出場、現地高校との合同コンサートなど多くの貴重な経験をさせていただきました。

フロリダの方は明るく陽気な方が多く、自分達のパフォーマンスに対してもノリノリで拍手や歓声を送っ

# 大学、高校に定着する実践型キャリア教育

愛知東邦大学では今年1月、経営学部的女子学生2人が東京で開催された「キャリアインカレ」と呼ばれるビジネスコンテストの全国大会決勝に出場し、首都圏の有名大学の学生たちに負けない訴えが会場をわかせました。東邦高校ではすでに2012年から、生徒たちが企業探求プログラムである「クエストカップ」に挑戦し続けています。大学、高校で広がりを見せる実践型キャリア教育について東邦学園の取り組みの現状を紹介します。

## 教育視点から見た「キャリアインカレ」

愛知東邦大学経営学部教授 手嶋 慎介

愛知東邦大学の学生たちを、「高校球児のように全国の舞台に立たせてやれないか」と、手探りでトライしたのが「キャリアインカレ2018」でした。2019年1月に東京で開催された学生たちのビジネスコンテストで、経営学部地域ビジネス学科の2年の女子学生が決勝戦にまで進出し、早稲田や明治など首都圏の有名私大チームと堂々と対決しました。

平成最後の決勝大会への出場は、やや出来すぎたストーリーだったかもしれません。そして、今回取り上げたいのは、決勝大会以前に敗れた学生たちです。

2年生の1人は、周りから滑舌が悪いなどと言われながらも第2審査まで進出。その後の敗退理由(フィードバック)を丹念に読み込み、本気で取り組んでよかったという感想でした。3年生チームの2人は、東邦高校時代に企業探求プログラムである「クエストカップ」全国大会への出場経験があったものの、初戦敗退。むしろ挫折を味わったことが、就職活動へのバネになっているようにも見えます。



現在、彼らとは「沖縄県・読谷村」をテーマとするプロジェクト科目で共に学んでいます。その目標は、この冬の「社会人基礎力育成グランプリ」に出場し、「令和最初」の大賞を獲得することです。

人生100年時代を意識した「学び直し」が注目されています。いつまでも夢・挑戦する姿勢を持ち、学び続ける学生を輩出していくこと、これが本学のキャリア教育だと考えています。

てくございました。自分達の演奏に合わせてステップしたり、体全体をつかって楽しんでくださる方もいました。そんな自由な雰囲気、最初は少し戸惑いましたが、そんな方々に自分たちの思いが届くようにと、気持ちを込めて演奏演技しました。

多くの方々に楽しんで頂いた本番演奏は、言葉や文化は違って音楽の力で気持ちを通わせることができることをはっきりと体感した瞬間でした。特にティンバークリーク高校でのコンサートでは、ホームステイをさせていただいたホストファミリーとのお別れに多くの部員が涙を流していました。

## キャリア教育の実践「クエストカップ」からみる教育効果

東邦高校キャリアセンター 池田 暁生

本校が2012年よりキャリア教育の一層の充実を図るべく取り組んでいるクエストプログラム。実在する企業に、教室にいながらにしてインターン生となり、課題解決に取り組むプログラムです。

本プログラムには1年間の深い探求の成果を発表する全国大会が用意されています。全国で本プログラムに参加をする中高生は2万人以上。この荣誉ある大会に出られるのは各企業から10チームのみ。年々参加生徒が増え全国大会への出場は、これまで以上に困難な環境となっています。

しかし、本校は2012年に開始して以来、初年度から全国大会に出場し、これまで7年連続でその快挙を果たし



てきました。全国大会への出場は、インターン先の企業の社員や役員に対する直接プレゼンの場です。そのため、選ばれた生徒たちは自分たちの想いを伝えようと大会前日、いや、当日までブラッシュアップを繰り返します。その姿は、年齢・学年を問わず見るものに勇気を与え、感動を呼びます。生徒の成長は、我々の想像を超え、生徒自身の限界を超えていきます。この自己の枠を超えた、挑戦の誘発こそ本プログラムの教育的潜在能力であります。

私は、遠征を終えて、聞いてくださる皆さまとつながる演奏演技ができるよう、今まで以上に意欲的に練習に取り組めるようになりました。英語をもっと話せるようになりたいと、学習面の意識も大きく変わったと思います。バンド全体としても10日間で大きく成長できたと思います。この経験を生かし、さらに愛されるバンドになれるよう頑張ります。

最後になりましたが、日頃から応援し、支えてくださっている家族や教職員の方々、OG、OBの先輩方、そして顧問の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

# 大学／行事・クラブ活動

## 302人が母校に別れ

2018年度卒業証書授与式が3月15日、S棟2階アリーナで開催され、経営学部、人間健康学部、教育学部での学びを終えた302人が母校に別れを告げました。榎直樹学長は、「歴史を冷静に見る目を養ってください。そして、自分自身の活動やふるまいが、真に信頼され、社会全体、ひいては国を超えて幸せにしていけるかどうか、時おり立ち止まって考えてみてください」とはなむけの言葉を贈りました。

## ようこそ南国商学院からの留学2期生3人

中国の広東外語外貿大学南国商学院から愛知東邦大学に新学期から編入学する留学2期生3人が来日し、学生寮「TOHO Learning House」に入寮しました。3人は経営学部国際ビジネス学科(IB)3年生に編入学する鄭珊珊さん、林佩珊さん、科目等履修生の陳楽然さん。3月18日午後2時前に中部国際空港に到着。「日本の文化が知りたいし、各地の食べ物もたくさん食べたい。しっかり勉強して日本の友だちを作りたい」(林さん)など抱負を語りました。

## 過去最多414人の新入生迎え入学式

2019年度入学式が4月2日、S棟2階アリーナで行われ、3学部412人の新入生と、中国の広東外語外貿大学南国商学院から編入学した2人を合わせた414人が愛知東邦大学での学生生活をスタートさせました。新入生は2018年度の402人を上回る過去最多となります。



過去最高の新入生を迎えた入学式

榎直樹学長は式辞で、「愛知東邦大学に入学して良かったと思ってもらえるような教育を行います。皆さんは自分のオンリーワンを考えてください。それがベストワンへと成長し、誰とも比べようがない皆さんの価値となります」と新入生たちに語りました。

## スポ音奨学生の1年生30人に証書交付式

スポーツ・音楽推薦特別奨学生として入学した1年生30人への証書交付式が4月5日、H401教室で行われました。男子サッカー部10人、女子サッカー部10人、硬式野球部5人、吹奏楽団3人と2019年度から新たに加えられた女子バスケットボール部2人。30人全員が宣誓を行い、硬式野球部の清水達哉さんは「高校時代に果たせなかったプロになるという夢を大学野球でかなえたい」と決意を述べました。



スポ音奨学生の1年生30人への証書交付式

## 11団体が活動報告会で決意

学生会主催の「クラブ活動報告会」が5月27日に開催され、学生会を含む11団体が2018年度の活動実績と2019年度の活動目標などを報告しました。

午後5時から体育館で行われた報告会では、学生委員会委員で経営学部の大勝志津穂准教授があいさつ。「同じ愛知東邦大学でクラブ活動に取り組む立場から活動情報を共有し、ネットワークを広げてください。所属するゼミなどでも自分たちの活動について胸を張って報告し、多くの学生に試合に来て応援してもらえる雰囲気を作り出してください」と述べました。

### 学生会

#### 和丘祭PRで新たな広報活動検討中

2018年度は従来2日間だった和丘祭を初の試みとして「1日開催」で実施し、大盛況となり来場者数が約3000人に到達した。さらに多くの学生に参加してもらえるよう新たな広報活動、新イベントを考えている。(人間健康学部4年・池島拓希)

### 硬式野球部

#### 秋はかならず1部昇格

昨年秋は2部優勝決定戦で敗退。悔しさで臨んだ今年春のリーグ戦は5勝5敗で残念ながら2位。グラウンド外でのあいさつ、マナーの徹底などで部員としての自覚を高められた。チーム一丸となり、必ず秋は1部に昇格したい。(人間健康学部4年・平尾貴彦)



### 男子サッカー部

#### 前期の雪辱は後期で

3月の愛知県選手権大会はベスト4。しかし、その後の東海2部リーグ戦では前期9節中7節を終わって1勝2分け4敗でふがない9位。目標は東海リーグ1部昇格なので、全力で練習に取り組み、前期残りと後期9節で巻き返したい。(人間健康学部3年・鶴飼真斗)

### 女子サッカー部

#### インカレベスト8を絶対に達成したい

昨年はなかなか試合に勝てず苦しいシーズンだった。今年も昨年同様、インカレベスト8を目標に、常にチャレンジし続け、チーム一丸となって戦い抜く。今年こそはインカレベスト8を絶対に達成したい。(経営学部4年・大藤由衣)

**8月** 前期末試験・夏期休暇(8/7～9/24)、オープンキャンパス、納涼音楽祭、教員免許状更新講習、インターンシップ

**9月** 幼稚園教育実習、教育懇談会、後期講義開始

**11月** オープンキャンパス、保育所実習、大学祭(和丘祭)

**12月** 保育所実習、冬期休暇(12/25～1/5)

**1月** 後期講義終了、後期末試験

**2月** 後期末試験、就職合宿、卒業研究発表会、春期休暇(2/8～3/31)

**3月** 卒業証書授与式、学内企業展

## 沖縄でのトライアスロン大会で浅田さん優勝



トライアスロン優勝の浅田さん

沖縄県豊見城市で4月7日に開催されたトライアスロン大会「美ら島チャレンジとよさきトライアスロン2019」で、人間健康学部2年生の浅田亜実さんが女子の部で優勝を飾りました。浅田さんは「トライアスロン部」に所属。288人が出場した大会にも「愛知東邦大学」のネーム入りユニホームで参加しました。

浅田さんの活躍は翌日の「琉球新報」「沖縄タイムス」などでも報道され、沖縄タイムスは浅田さんの大学名入りユニホーム姿の写真とともに喜びの声を掲載しました。浅田さんは、「次の目標はインカレ東海地区予選の突破。本戦に出場して愛知東邦大学の名前を全国にアピールしたい」と話しています。

沖縄県豊見城市で4月7日に開催されたトライアスロン大会「美ら島チャレンジとよさきトライアスロン2019」で、人間健康学部2年生の浅田亜実さんが女子の部で優勝を飾りました。

## FREE STYLEが国技館でのダンスバトルに出場

ダンスサークル「FREE STYLE」の5人が4月21日、東京・両国国技館で開催された「マイナビDANCE ALIVE HERO'S 2019 FINAL」に初出場しました。

5人は人間健康学部4年生の野村晃大さん、教育学部4年生の大神三奈さん、人間健康学部3年生の児玉亮太さん、同2年生の伊藤一輝さんと今春、人間健康学部を卒業した伊藤達真さん。中部地区第2代表として出場し、関東第2代表の明治大学と対戦。7人の審査員のうちFREE STYLEに勝利のジャッジを挙げたのは2人。無念にも5対2で敗れました。戦い終えたメンバーたちは、明治大学のメンバーたちと互いの健闘をたたえ合い、審査員に一礼し、会場に清々しさを残しました。



国技館バトルに出場したFREE STYLE

### 吹奏楽団

#### フロリダ遠征に続き甲子園応援

昨年度は団員13人で年間約50本のイベントや大会に参加。3月末には東邦高校マーチングバンド部と合同でフロリダに遠征し、帰国後は甲子園で応援演奏。今年も団員数は少ないが、精一杯やり、地域に愛されるバンドを目指したい。(教育学部3年・佐々木明日翔)

### 女子バスケットボール部

#### 強化指定クラブにもなりユニホームも新調

昨年度は人数が少なく試合に出場できなかったが、今年度は1年生4人が入部。強化指定クラブにもなりユニホームも新調できた。4月の大会では初戦で勝つことができなかったので、夏の大会に向け、一つでも多く勝てるよう練習をしている。(教育学部3年・渡辺真緒花)

### 男子バスケットボール部

#### 夏の大会でまず1勝が目標

昨年は夏、春の大会はどちらも全敗。体力がなく、後半になると走れなかった。今年度はチームのクレド(信条)に「責任と思いやり。受け入れられる心とチームワーク」を掲げ、夏の大会での1勝を目標にしている。(人間健康学部3年・川田碧)

### 軟式野球部

#### 昨年は7年ぶりに1部に昇格

中部日本学生軟式野球連盟に所属していて2018年春

季リーグで7年ぶりに1部に昇格できた。秋季リーグでは入替戦となったが残留できた。2019年度も全国大会出場を目標に頑張っていきたい。(人間健康学部3年・西洗太郎)

### アルティメット部

#### 1年生部員迎え上位リーグめざす

昨年度は全日本選手権アルティメット大会では6戦1勝、東海オープンでは5戦1勝。今年度は4年生2人、3年生1人、2年4人で1年生も4人。目標は東海オープンや全日本アルティメット選手権大会で上位リーグをめざす。(教育学部3年・林侑哉)

### ATTO

#### もっとC棟でトレーニングしてほしい

今年度も昨年度同様に全国学生トレーナーの集いなど様々なイベントに積極的に参加したい。残念なのはC棟での活動クラブが少なく充実度が低いこと。もっとたくさんのクラブがC棟でトレーニングしてほしい。(人間健康学部3年・緒方亮介)

### バレーボール部

#### 愛知県リーグ3部昇格を目指す

昨年度は東海リーグと愛知県リーグに出場。秋の愛知県リーグで5部に落ちたが、春に優勝し4部に昇格することができた。今年度は東海リーグ4部、愛知県リーグ3部昇格を目標に頑張っていきたい。(人間健康学部4年・若原大護)

# Ⅱ 高校／行事・クラブ活動

## 第70回卒業式を挙行政 3月1日

体育館では多くの来賓、保護者の見守る中挙行政され571人が巣立っていきました。卒業生「答辞」では普通科、吉村奈美さんが3年間の思い出に感謝を込めて、教職員、保護者に向け語り尽くし、とても感動的な式典になりました。

## 608人迎え入学式を挙行政 4月5日

体育館では、桜の咲き誇る中、体育館で2019年度入学式が挙行政されました。新入生代表の大沢萌寧さんが、



力強く「誓いの言葉」を述べ、東邦生として歩みだしました。翌週8日には始業式、クラブ紹介が行われました。

## 1年生が学級合宿 4月23日～25日

1年生は2グループに分かれ1泊2日で学級合宿を実施。前団は23、24日に、後団は24日、25日にそれぞれ恵那・湯の山で合宿。全団、元気にバーベキューを楽しみ、クラス作りや総合学習に取り組みました。

## 2、3年生が遠足 4月24日

3年生は4団に分かれ、嵯峨野～嵐山、伊勢神宮～おかげ横丁、彦根城～長浜、三十三間堂～清水寺に、2年生は3団に分かれ、明治村、リトルワールド、妻籠・馬籠で遠足を実施しました。あいにくの天気でしたが、2年生は雨バージョンの行程で楽しみました。

## 「名古屋空襲慰霊の日」制定を求める 請願運動について

生徒会顧問 古田 知子

生徒会は、昨年度秋から「名古屋空襲慰霊の日」制定を求める運動に取り組み、請願書を名古屋市議会へ提出しました。高校生の請願は名古屋市では初めてのことだと後々知り、改めて生徒たちは大きな取り組みに挑戦したのだと感じています。

文化祭本部企画で聞いた辰巳会の方の空襲体験を思

い起こしながらの請願書作り、自分たちの思いを直接伝えに行った議員訪問、そして

同世代にも関心を持ってほしいと集めた賛同書は愛知県下36校



の中学・高校生徒会・13の市民団体に上りました。請願書は一部保留となりましたが、今後も私たちの住む名古屋で戦時中何があったのかを学び、取り組んでいきたいと思っています。

## 男女で成し遂げた念願の県総体出場

卓球部顧問 岩澤 大介

卓球部は男子15人、女子8人、顧問3人で活動をしています。3年前の秋に男子学校対抗で県大会に出場してから、秋の県大会出場が続いていました。そして今春、念願の県総体出場を男女で成し遂げることができました。上級生のほとんどがチャレンジ・サイエンスコースに所属していながら、この結果を出せたことを大変誇りに思っています。



卓球はプレー技術が重要であることはもちろんですが、それ以上にメンタルで勝負が決まるスポーツです。今回の結果に甘んじることなく精進をし、次は県大会ベスト8を目標にして頑張っていきます。

## 世界のごみ問題を話し合った 4か国5校姉妹校交流会

国際交流室長 伊藤 保憲

今年度の4か国5校姉妹校交流会は、Man-Made Waste and Pollutionをテーマに行いました。各国の生徒たちはこのテーマに基づいて事前学習を重ね、プレゼンテーションを会期中に行いました。本校を代表した6人の生徒たちは、野鳥を通して藤前干潟の保護についてプレゼンテーションしました。

**8月** 夏の英語研修、納涼音楽祭、夏期補習(後期)、PTA委員会

**9月** 始業式、面接週間、インターンシップ報告会、実力考査(全学年)、学級懇談会(3年)、学園祭(体育祭、文化祭)

**10月** 中間考査、学級懇談会(1・2年)、英語スピーチコンテスト、美術科卒業制作展

**11月** 修学旅行、期末考査

**12月** 慰霊の日、学級懇談会(3年)、芸能鑑賞、終業式、冬期休暇

**1月** 始業式、面接週間、PTA委員会、学年末考査(3年)、実力考査(1・2年)、マラソン大会

**2月** 修学旅行(人間健康コース)、予餞会、卒業式

**3月** 学年末考査、実力考査、終業式



テーマに基づくプレゼンやディスカッションだけでなく、京都への一泊旅行、各国文化の紹介などを通して交流を深めました。最終日は涙を流して別れを惜しみ、再会を誓い合って本交流会を終了しました。次年度はオーストラリア姉妹校サレジアンカレッジでの姉妹校交流会が予定されています。

## 創部40年以上のアーチェリー部の歴史と卒業生の活躍

アーチェリー部顧問 齊藤 卓哉

アーチェリー部は創部40年以上の歴史を持っています。以前は高校を卒業すると競技をやめてしまう生徒が多かったのですが、近年では大学に進学しても競技を続け、大学の体育会で活躍している者も増えており、嬉しい限りです。2019年度は前年度に続いて大量の生徒が入部し、テニスコート上の30mの射場も少し手狭ですが大変活気にあふれています。

全員が県大会以上で必須の70m競技に出場することを目標に、校内の射場をフルに活用し、30mで300点前後(全て10点に当たれば360点)を出し、自信をもって試合に臨めるように日々練習に励んでいます。

## 黄金期に一步でも近づくために

剣道部顧問 山下 峻平

剣道部は戦前、全国大会を3度制した全国に名を馳せる強豪校でした。現在は全国大会からは長い間遠の

いており、愛知県内で勝つことが厳しい状況に置かれています。

しかし、現部員は黄金期に追いつけ、追い越せと一歩ずつあゆみを進めており、その一歩目として、5月25日に行われました、愛知県総合体育大会予選では、女子団体の部において第3位という結果を得ることができました。インターハイには一歩届きませんでした。東海大会で良い結果が得られるように、部員一同より一層精進していきたいと思います。応援の程宜しくお願い致します。



## 新たなる伝統への再スタート

ソフトボール部顧問 船水 昭宏

昨年秋に続いての県大会出場が決定しました。予選で4-2と苦戦した相手でしたが子ども達の「絶対に負けられない戦いだ」という思いが流れを呼び、13-0という大差で県大会出場の切符を手に入れました。県大会では1回戦で西三河代表の知立高校と対戦し、10-6で勝ちました。昨年秋は県大会のレベルの高さを知る大会でしたが、今回は先制されながらもあきらめずに逆転し、念願の勝利を手にすることができました。

以前は県で3位になったこともありましたがここ数年は人数不足に陥り、合同チームを組まなければ大会に出られない時期もありました。その時期に必死に東邦高校ソフトボール部のバトンをつないでくれた子ども達に改めて感謝したいと思います。秋に新しい1ページが開かれ、そして春にはそのページを増やし、新たなる伝統への再スタートとなる大会となりました。





# 2020年度に 国際探究コースを新設

東邦高等学校は2020年度、新たに国際探究コースを開設します。

世界の諸課題を克服する意欲を持ち、高度情報化社会への対応能力とともに、論理的、批判的な思考を兼ね備え、異文化への関心、理解に基づき、多文化共生社会の一員として活躍できる人間の育成を目指します。

世界各地の文化的特徴に関心を持たせるとともに、世界遺産が直面する固有の課題から見えてくる地球規模の問題についてもリサーチし発表します。

模擬国連にもチャレンジし、世界の諸課題に対する解決策を担当国の立場で立案します。そして、リサー

チによって収集した情報を整理し、考えをまとめ、論理的な文章を作れるよう、1年次より国語の授業を厚めに行っています。

英語の授業は英語科のネイティブ教員と日本人教員が協力して行います。文法を体系的に理解したうえで、英文読解、作文指導や表現の指導を行います。自分で考えたことを論理的に英語でプレゼンテーションします。

進路は主に文系私大になります。AOや推薦入試にも幅広くチャレンジしていく予定です。(広報企画室・国際交流室)

## EVENT

### 2020年度新設「国際探究コース」説明会

What's  
国際探究  
コース

- ・グローバルヴィジョン
- ・ロジカルシンキング
- ・インターナショナルコミュニケーション
- ・グローバルスタディズ

日 時	2019年8月30日(金) 10:00～11:30(9:30受付開始)	受 付 9:30～10:00 説明会 10:00～11:30
申し込み 開 始 日	6月10日(月)	① 名古屋大学 佐宗章弘教授による記念講演
会 場	名進研ホール(名古屋駅前)	② 外国人教諭によるアクティブラーニング
対 象	中学生・保護者・中学校の先生方・ 塾の先生方	③ 国際交流で学ぶ東邦生 ④ 国際探究コースで学ぶ意義 ⑤ カリキュラム等説明

## ブランディング事業

# 「オンリーワン」への決意こめ、広まるオレンジ2本線

愛知東邦大学が定めたブランドシンボルはオレンジ2本線です。力強く温かな2本のラインは、自立した学生と教職員を表します。双方の中心に生まれた無垢のラインは、両者が向き合い、信頼関係を築く中で磨くオンリーワンの力や経験を表現しています。それは進むべき一本の道にもなります。コンセプトフレーズ「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」を視覚化したこのシンボルマークには、一人ひとりの可能性に目を向けた真摯な教育をめざす愛知東邦大学の決意が込められています。2019年も決意のオレンジ2本線が続々と生まれています。

## キャンパスに「アーキファニチャー」設置の憩いの広場

大学事務局長 細江 保司

愛知東邦大学は、「空間・環境整備」の一環として、B棟前及びS棟前の空闲地を、学生が教職員と向き合い学修や将来の進路について語り合い、学生同士が食事を共にしながら心身をリフレッシュする広場としてリニューアルしました。



この広場には「空間」+「機能」+「シンボル」が一つになった「アーキファニチャー」が複数台設置されています。この「アーキファニチャー」は学生たちの創意工夫により季節感や色彩豊かな雰囲気を醸成する集いの場を作ることができます。

## 硬式野球部と女子バスケ部が新ユニホーム

硬式野球部と2019年度から強化指定クラブとなった女子バスケットボール部のユニホームが愛知東邦大学のシンボルであるオレンジ2本線入りユニホームに新調されました。

硬式野球部の新ユニホームは、東邦高校硬式野球部と同じ純白のデザイン。高校は文字や背番号は濃紺色ですが、大学は「東邦グレー」と呼ばれる灰色で、背首にオレンジ色の2線が入っています。

大学からの贈呈式は2月22日にL棟で行われ、榊直樹学長があいさつ。「早稲



田や慶応を始め、多くの学校で大学、高校のブランドを統一する動きがあります。新ユニホームは、東邦学園96年の歴史に誇りを持つという決意を込めた、学園の新たなスタートを切る記念すべきユニホームです。多くのファンが新ユニホームにあこがれるような活躍をして、リーグ戦を勝ち抜いてください」と部員たちを鼓舞しました。

女子バスケットボール部の新ユニホームも胸にオレンジ2本線入りの、淡色、濃色の2タイプ。4月10日、A101教室で行われた贈呈式で榊学長は「バスケットボール部は東邦商業学校時代にもさかのぼる歴史があります。90年以上の歴史を誇るクラブの新たなスタートであるという気持ちで新ユニホームを着て、活躍してください」と部員たちを激励しました。

キャプテンの渡辺真緒花さん(教育学部3年生)は、「新ユニホームで一つでも多くの試合に勝っていきたいと思います」と感謝と決意をこめてあいさつしました。



## グランパスホーム開幕戦で学生たちがシンボルマーク入りグッズを販売



名古屋グランパスのホーム開幕戦が3月2日に行われました。

試合会場のパロマ瑞穂スタジアムでは、経営学部「東邦プロジェクトA」(担当・高木靖彦教授)の学生たちが、

大学シンボルマークであるオレンジ2本線入りのニット帽、クッション4種類を販売しました。

学生たちは商品の決定、デザイン、販売戦略などについて名古屋グランパスエイト社員の指導を受けながら販売にこぎつけました。販売テントでは、学生たちがグランパスの練習場に出向き、風間八宏監督や選手たちに協力してもらい撮影した写真も掲げられました。



# 東邦学園 事業報告・事業計画

## 2018(平成30)年度 事業報告

2018年度は、終わりのない坂道を下り始めるように、18歳人口の著しい減少期に入る『2018年問題』に直面した年となった。このような中で学園の命運を左右する大学は、「質の向上」、95年の歴史を経た高校は「信頼され選ばれる学校」を目指して、『真面目』の教育、「21世紀のNAGOYAを創る」のスローガンのもと、中期経営計画推進の施策を柱に各種事業に取り組んだ。大学は、2016年度から準備を進めたブランディングを、「形」に表現して外部へ発信し、特に認知度向上への施策として「マス広告」には過去にない規模の投資を行った。これが国による「定員管理の厳格化」という追い風と相まって、志願者と入学者が開学以来最多となった。また、キャリア支援として様々な取組が行われ、公務員試験合格者は過去最高となった(3学部計16名 ※うち東邦高校出身4名)。

高校は昨年より普通科と美術科の2学科体制となった。クラブ活動では、硬式野球部がセンバツ甲子園に2年連続30回目の出場を果たし、平成の最初と最後を優勝で飾る快挙を成し遂げた。この5回目となるセンバツの優勝は、歴代全国単独1位で、名実ともに「春の東邦」の名を全国に知らしめた。この他にも、サッカー部、水泳部、空手道部、吹奏楽部、バトン部、ダンス部、放送部も全国大会に駒を進めた。

事務局は2023年の学園創立100周年に向けて、2018年度から組織と人事を大幅に刷新し、100周年行事や新たな事業を推進する体制を整えた。

2018年度決算は、大学、高校の入学者数の増加に伴って大幅な収入増となった。一方、支出は高校の校舎のメンテナンス工事

や大学の教育環境の整備を行ったが、人件費や管理等経費等の抑制もあって支出減となり、基本金組入れ前当年度収支差額で9,372万3千円のプラスとなった。

### 【法人部門】

学園の財政は、「収支の健全性」を最優先するあまり生じてきた、広報費を極端に抑える「しわ寄せ」を是正し、基本金組入前収支差額で収支を均衡させる方針で運営した。その結果、認知度向上策への投資が、特に大学における志願者増の効果を生み、好循環となった。

ブランディングの構想は、まず学園100周年の2023年を指標に、高校・大学それぞれの特色を支える学園ブランド体系(エンドーストブランド)を目指し、将来的には高大一体となった学園ブランド化(マスターブランド)を理想の姿として描いている。その取り組みの一つである高大連携は、主に東邦高校生向けのプログラムを充実させてきた。2018年度は、「高大連携授業」や「人間健康コース総合授業」に加え、初めて「科目等履修生制度」を導入した。また、2年目となる「内部進学制度」は、併設大学受験のメリットに一定の理解が得られ、高校から大学への入学者は過去10年間で2番目に多い49人となった。

さらに、学園公式バンドとして、高校マーチングバンド部と大学吹奏楽団の部員たちを構成員とした「TOHO MARCHING BAND」が結成され、全国大会出場した時のクラブ応援にとどまらず、地域・企業の要請に応じて年間およそ60の演奏活動を展開した。マーチング活動を通じて、地域に貢献し愛される東邦学園のブランディングに資する新たな展開が期待される。

## 資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,280,291	2,283,669	△ 3,378	人件費支出	1,979,678	1,975,848	3,830
手数料収入	43,130	56,886	△ 13,756	教育研究経費支出	743,043	722,476	20,567
寄付金収入	36,980	49,059	△ 12,079	管理経費支出	261,012	243,972	17,040
補助金収入	941,637	948,937	△ 7,300	借入金等利息支出	13,576	13,553	23
資産売却収入	70	70	0	借入金等返済支出	165,824	165,824	0
付随事業・収益事業収入	34,531	33,925	606	施設関係支出	79,885	77,724	2,161
受取利息・配当金収入	1,112	2,273	△ 1,161	設備関係支出	124,576	121,952	2,624
雑収入	79,056	79,498	△ 442	資産運用支出	2,000	2,000	0
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	56,506	56,506	0
前受金収入	392,255	432,268	△ 40,013	予備費	(11,641)	0	18,359
その他の収入	183,934	198,102	△ 14,168		18,359		
資金収入調整勘定	△ 543,723	△ 530,869	△ 12,853	資金支出調整勘定	△ 34,399	△ 55,725	21,326
前年度繰越支払資金	1,750,759	1,750,759	0	翌年度繰越支払資金	1,789,973	1,980,447	△ 190,474
収入の部合計	5,200,032	5,304,576	△ 104,544	支出の部合計	5,200,032	5,304,576	△ 104,544

## 【愛知東邦大学】

2019年度入試に向けた募集活動は過去最高の志願者を集め、入学者も3学部全てで定員を確保し、入学者も過去最多の411名となった。文科省による定員厳格化の外部環境もあったが、知名度向上へ、鉄道駅と幹線街路へ広告を掲出したこと等が、効果を生んだと考えられる。キャリア教育充実に向けて、「東邦STEP」は2019年度から、同一時間帯に学生が受講できる時間割を組むという全学化の方向をまとめた。退学率低減へ諸方策をまとめ、一部実施した。

女子サッカー部は大学選手権に5年連続で出場し、ベスト16に進んだ。

## 【東邦高等学校】

2018年度は前年度の委員会の答申をもとに、コース体制の見直しや新コース創設について議論した。コース体制の見直しについては結果としては全面的な見直しとはならず、見直しや改善を積み重ねる第一歩にとどまった。しかし、新コース創設については国際探究コースの2020年度設置が決定したことで、急ピッチで準備を進めていく。

学校全体では生徒の活躍が前面に出た1年だった。部活動や生徒会活動、また文化活動や国際交流で生徒が生き生きと活動する姿、自分たちで考えて行動する姿をメディアが取り上げてくれることが多かった。特にクラブ活動では硬式野球部が2年連続30回目のセンバツ甲子園大会に出場し、平成最初と最後となる5回目の全国優勝を成し遂げ、東邦の名を全国に知らしめることができた。

今年度の生徒募集が推薦一般共に好調であったのは、補助金の充実や、施設設備の良さ、教育内容の魅力的なアピールで、私学への受験者増加の追い風にのったことも原因であろうが、自主活

動で生き生きと活動する生徒の姿が中学生や保護者の心をつかんだのかもしれない。今後とも中学生保護者に選んでもらえる学校を作り上げるために叡智を結集していきたい。

## 2018(平成30)年度 決算の概要

2018年度は、大規模な財政支出を必要とした。ハード面では学園全体のプロジェクトとして教室および事務の情報機器インフラを刷新し、さらに大学では構内(中庭)の環境を整備し、高校は校舎のメンテナンス事業として大規模修繕を始めた。加えて、大学のブランディング事業を学生募集に直結させるために、集中的に経費を投資した。

こうした状況もあり、当初予算では大きく支出超過となる編成であったが、大学入学者数の大幅増が最大の改善要因となり、加えて高校入学者数増と補助金の増額もあり、2018年度決算では十分に収支の均衡が図れる結果となった。

資金収支ベースでは、前年度繰越支払資金が17億5,075万円であったものが、次年度繰越支払資金では19億8,044万円となり、2億2,969万円の資金増となった。ただし、2017年度まで継続的に実施してきた減価償却引当特定預金の繰り入れ(約2億円)を、予算編成時から実施しないことにしているため、単純に学園の運転資金が大幅増加したという評価はしがたい。むしろ、当初予算編成時の水準などと比較すれば大きな改善であり、新規の借入金などに頼っていないこと、予定通り1億6,582万円の借入金返済を行っていることで、学園の持続的な運営には全く支障がない。

また、予算対比でみると、収入の部では1億400万円の増、支出の部では8500万円の減となった。収入の部で差異が最も大きい科目は、前受金収入の予算比4001万円増である。これは大学、高校ともに2019年度入学予定者が増加したためである。このことは2019年度予算の補正についても大きな改善要因となる。支出の部

## 活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

教育活動による資金収支	
教育活動資金収入計	3,431,163
教育活動資金支出計	2,942,295
調整勘定等	75,095
①教育活動資金収支差額	563,963
施設整備等活動による資金収支	
施設整備等活動資金収入計	20,881
施設整備等活動資金支出計	199,676
調整勘定等	△18,238
②施設整備等活動資金収支差額	△197,033
その他の活動による資金収支	
その他の活動資金収入計	18,506
その他の活動資金支出計	181,377
調整勘定等	25,630
③その他の活動資金収支差額	△137,241
支払資金の増減額(①+②+③)	229,688
前年度繰越支払資金	1,750,759
翌年度繰越支払資金	1,980,447

## 貸借対照表

平成31年3月31日

(単位：千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,558,055	8,759,772	△201,717
有形固定資産	7,281,777	7,475,698	△193,921
特定資産	1,266,707	1,264,707	2,000
その他の固定資産	9,571	19,367	△9,796
流動資産	2,084,043	1,932,797	151,246
資産の部合計	10,642,098	10,692,569	△50,471
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,596,836	1,736,457	△139,621
流動負債	781,303	785,876	△4,573
負債の部合計	2,378,139	2,522,333	△144,194
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,844,614	11,708,244	136,369
第1号基本金	11,410,713	11,274,344	136,369
第3号基本金	217,900	217,900	0
第4号基本金	216,000	216,000	0
繰越収支差額	△3,580,654	△3,538,008	△42,646
純資産の部合計	8,263,959	8,170,236	93,723
負債及び純資産の部合計	10,642,098	10,692,569	△50,471

では、教育研究経費、管理経費の予算未執行分および予備費の未執行分、さらに期末未払金計上の増額による資金支出調整勘定などの差異が要因で減少している。ただし、例年と比較しても執行率では大きな乖離はない。

事業活動収支ベースでは、教育活動収支差額で8,255万円の収入超過、教育活動外収支差額で1,128万円の支出超過、特別収支差額で2,244万円の収入超過となった。学校会計で最も注視すべ

き項目の一つである基本金繰入前当年度収支差額は、9,372万円の収入超過という結果になった。この差額が複数年度にわたり支出超過である場合は、「経営状態が極めて深刻な状態」と評価されかねないという指標でもある。全国の学校法人でこの数値が支出超過である比率は39.7%であるという状況の中、本学園ではここ数年収入超過の状態を継続している。

## 事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,280,291	2,283,669	△ 3,378
		手 数 料	43,130	56,886	△ 13,756
		寄 付 金	36,980	49,059	△ 12,079
		経 常 費 等 補 助 金	920,826	928,126	△ 7,300
		付 随 事 業 収 入	34,531	33,925	606
		雑 収 入	79,056	79,498	△ 442
		教育活動収入計	3,394,814	3,431,163	△ 36,349
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人 件 費	1,991,718	1,986,868	4,850
		教 育 研 究 経 費	1,135,152	1,113,948	21,204
		管 理 経 費	264,981	247,807	17,174
		徴 収 不 能 額 等	△ 361	△ 20	△ 341
教育活動支出計		3,391,489	3,348,603	42,886	
教育活動収支差額		3,325	82,560	△ 79,235	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	1,112,000	2,272,783	△ 1,160,783
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計		1,112,000	2,272,783	△ 1,160,783
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	13,576	13,553	23
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計		13,576	13,553	23
	教育活動外収支差額		△ 12,464	△ 11,280	△ 1,184
経常収支差額		△ 9,139	71,279	△ 80,419	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	70	70	0
		その他の特別収入	22,001	23,788	△ 1,787
	特別収入計		22,071	23,858	△ 1,787
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	1,610	1,607	3
		その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計		1,610	1,607	3
	特別収支差額		1,879	2,208	△ 329
〔 予 備 費 〕					
基本金繰入前当年度収支差額		△ 5,749	93,723	△ 99,473	
基本金繰入額合計		△ 125,228	△ 144,779	19,551	
当年度収支差額		△ 130,977	△ 51,055	△ 79,922	
前年度繰越収支差額		△ 3,538,008	△ 3,538,008	0	
基本金取崩額		5,640	8,409	△ 2,769	
翌年度繰越収支差額		△ 3,663,346	△ 3,580,654	△ 82,691	
(参 考)					
事業活動収入計		3,417,997	3,457,294	△ 39,297	
事業活動支出計		3,423,746	3,363,571	60,176	

## 2019(令和元)年度 事業計画

### 【重点目標】

#### (1)「質の向上」と「生徒・学生の確保」強化へ～中期経営計画の着実な推進

高校及び大学とも教育の質の向上を図り、「生徒・学生の着実な確保」が不可欠の課題である。

学園は「『真面目』の教育、21世紀のNAGOYAを創る」のスローガンのもと、少子高齢化・人口減少社会の到来、ナショナリズムを包含しながら拡大するグローバル社会、AI/ITによる大規模イノベーション等のマクロ環境の大変革、同時に大学入試改革や成績評価基準の設定など厳格な成績管理等のミクロ環境の変化も的確に認識しつつ、中期経営計画や年度事業計画を着実に実行する経営システムづくりを進める。また、内部進学を中心として東邦高校と愛知東邦大学との実質的な連携を深化させ、学園としての経営基盤を一層強化する。

#### (2)ブランディングの推進

学園の無形資産であるブランド価値の最大化を目指す。大学は2018年度から本格的な活動の緒に就いた。100周年に向けて、学園が大学・高校を支援し、大学・高校が学園に貢献するような相乗効果を生むマスターブランド化を目指す(現在は、大学・高校それぞれが異なるブランドを持つエンドーストブランドとして認識)。

学校のブランド力成長の三本柱は、「ひろがる(認知度・知名度)」「とがる(競合校との差別化)」「よろこばす(自校に誇りを持つ卒業生を増やす、学外のファン層・高ロイヤリティ層の創出)」といわれる。大学・高校ともに自らの強みを磨き、有為な人材を育てることに焦点を当てる。

#### (3)働き方改革への対応と事務部門の力量向上

働き方改革関連法の成立を受け、勤怠管理の方法を改める。時間外労働の上限規制の厳格化は、特に課外活動への影響が大きく、勤務体制や日常の業務を抜本的に見直す。

また事務職員は特に大学において、教育活動を進める上での両輪である。FDとSDの合同研修など、教育の充実へ事務職員の質向上を図る。

#### (4)100年記念事業に向けた事業戦略

2023年の創立100年に向けて高校及び大学の同窓会等と連携協力して、事業を立案し、着実に推進する。

### 【東邦学園・法人】

2018年度に理事会で承認・決定した中期財政計画によって、学園全体の向こう10年間の収支見通しを立てた。大学と高校が入学定員を確保すれば安定的な運営基盤を築けることが明らかとなった。2016年度に策定した中期経営計画を着実に遂行するとともに、2023年度には創立100周年を迎えることとなるため、新たな100年事務局を中心に計画した事業を着実に実行し、新たな飛躍の年としたい。

高校では2019年度、96年間の歴史で初の女性校長が誕生し、ダイバーシティを学校の内外に示す。

### 【愛知東邦大学】

「2022年度に全体として1,400名体制を維持できる大学」というブランディングの中期目標に向けて、「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」を実現する新たな大学の姿を具体的にアピールする事業を企画・推進する。また、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(FD研修)を強化する。

学部学科における中期経営計画の見直しについては、第2次中期経営計画の最終年度である2020年度における学部学科の「姿」や立ち位置を明確にするため、出口目標とそれに向けた取り組みを明確化する。また、これらに関することを学部学科内で意思統一を図る。

2020年度から高等教育の無償化が実施されることとなり、その支援措置の対象となる大学に、厳格な成績管理の実施・公表が要件として課されることとなり、その実施に向けて必要な措置をとる。

### 【東邦高等学校】

文科省が「明治以来の大教育改革」と称した高大接続改革もいよいよ大詰めを迎え、大学入学共通テストが2020年度から、2022年度からは新学習指導要領が年次進行で実施される。本校にとって、2019年度は新学習指導要領に対応するカリキュラム策定のための重要な1年となる。「主体的・能動的な深い学び」を実現するために、また、新たな大学入試においても本校生が十分に力を発揮し、これまで以上に高く評価されるように、そして将来、生徒たちが活躍する社会で、真に必要なとされる能力を涵養できるカリキュラムを策定する必要がある。

「国際探究コース」創設が決定した。2020年度募集に向けて準備期間は決して長くない。本校のこれまでの国際交流、国際理解教育の実践をもとに「主体的・能動的な深い学び」をグローバル教育として具現化するコースとなるよう、急ピッチで準備を進めていきたい。

本年度入試で推薦受験者・一般受験者が共に増加したことは大変喜ばしい。補助金の充実や、施設設備の良さ、教育内容の懸命なアピールが、受験者増加の追い風になっているとも考えられる。一方合格率は例年に比してかなり低くせざるを得なかった。それでも予定より2クラス増を見込んでいる。前年度入学生が16クラスであり限られた教室数であること、「国際探究コース」1クラスの創設、在校生の教育環境を一定維持することを考え合わせれば、2020年度入試に改革が必要であることは自明である。改革はその場しのぎであってはならない。この改革が本校の生徒募集の方向性の分水嶺になるであろうことを肝に銘じ、準備を怠りなく進めたい。

### 2019年度 予算の概要

教育機関を取り巻く環境は、急速な少子化によって大変厳しい。学校法人は教育環境を整備し、教育の特色化を一層打ち出して、競争力の強化に努める必要がある。

その環境下で本学園はかつて、高校と大学の校舎が老朽化し耐震基準も大きく下回るとともに、大学の改組転換に伴い校舎建設とグラウンド確保が要件となり、早急な対応が求められた。2006



## 高大教職員合同研修会で 「95周年記念祝賀会」

「新たな百年」事務局事務長 齋藤 周一

2018年は学園創立95周年にあたります。3月4日、例年開催している「高大教職員合同研修会」に交流会を追加し「95周年記念祝賀会」と銘打って実施しました。

前半の研修会の講師は、元県立広島大学特任教授の山根英幸氏にお願いし「企業と人材」の演題で1時間半の講演をしていただきました。

後半の交流会では、100周年を見据えた学園将来構想について榊直樹理事長から説明があり、21世紀に求められる人材を輩出する学園のあるべき高大連携のあり方や、創立100周年を迎える2023年以降も永続していく学園になるためのメッセージが教職員に送られました。

大学からは51人、高校からは78人の参加者があり、盛会の内に終了しました。



## 地域に根差したスポーツクラブ 「TOHO・CSC」がスタート

東邦学園のスポーツ人材やネットワーク、施設を最大限に生かした地域貢献をめざす「東邦学園地域スポーツクラブ」(TOHO・Community Sports Club=CSC)が4月からスタートしました。

スタートしたのは愛知東邦大学が中心となった2種目。女子サッカー部と連携した小5から中学2年生までの女子を対象の「女子サッカークラブ」と、人間健康学部の小島正憲准教授のもとで年長から小学生までを対象の「体操教室」です。

TOHO・CSCは地域の皆さんの健康維持増進、地域スポーツの活性化と学生・生徒への学びの場の提供を目指しています。地域と連携し、コーチ等の指導者派遣にも対応できるように体制を整えていきます。



## 学生寮ゲストハウスが2年連続 Booking.com表彰

世界最大のオンラインホテル予約サイトである「ブッキングドットコム」(Booking.com)が、クチコミ評価が高い優良宿泊施設として表彰する「Guest Review Awards 2018」に、学生寮「TOHO Learning House」の寮生たちが運営するゲストハウスが2年連続で選ばれました。清潔さ、快適さ、ロケーション、施設・設備、スタッフ、お得感の6つのカテゴリーの項目で評価されました。

2月9日にS棟で開催された「地域と連携した授業・活動」報告会では寮長の鳥袋泰志さんは、ゲストハウスの運営状況について、「2016年に124人しかなかった延べ宿泊者数が2017年には3646人、2018年には3947人と大幅に増え、2019年の売り上げ目標として1800万円が掲げられています」と報告しました。



## 「愛知東邦大学内平和が丘保育園」スタート

株式会社イープロ 村田 悟

株式会社イープロでは、形の上では認可外にあたりますが、内閣府の企業主導型保育事業にのっとり、2018年度から約1年間にわたる準備を進め、この4月9日より「愛知東邦大学内平和が丘保育園」をスタートさせました。5月時点での園児は4人。8～9月期さらに3人の入園希望・予定を承っております。

この保育園は、企業枠と地域枠双方の受け入れが可能という柔軟性があり、保育料も年齢に応じて定額です。お問い合わせの多くは名東区在住及びその予定の方々です。帰国、転勤、引っ越し等の多様な事情があるようです。





**愛知東邦大学**  
AICHI TOHO UNIVERSITY

経営学部 人間健康学部  
教育学部



**愛知東邦大学**  
AICHI TOHO UNIVERSITY

オンリーワンを、一人に、ひとつ。

## オープンキャンパス

8/7(水)・8/23(金)

8/24(土)・11/16(土)

- 9:00/受付開始 10:00/スタート
- 開催場所/愛知東邦大学キャンパス内
- 対象/高校生・保護者
- 内容/総合説明会・模擬授業・キャンパスツアー  
東邦STEP説明会・学食体験・AOガイダンス  
AO入試対策講座など
- 地下鉄「一社」駅より無料送迎バスがあります

### 【お問い合わせ】

愛知東邦大学 入試広報課

TEL: 052-782-1600



**東邦高等学校**  
TOHO HIGH SCHOOL

普通科(文理特進・普通・人間健康)  
美術科

美術科夏期講習会 7/27(土)、7/28(日) 9:00~15:00 要インターネット事前申し込み

東邦キャンパスディ 8/28(水)、8/29(木) (授業体験)9:30~11:00 要インターネット事前申し込み  
(部活動見学)9:30~11:30 要インターネット事前申し込み

文化祭(一般公開日) 9/28(土) 10:00~14:00 入場制限あり

美術科卒業制作展 10/22(火)~27(日) 10:00~18:00 (愛知県美術館開館時間内)

美術科説明会 10/27(日) 9:00~10:00  
要インターネット事前申し込み

中学生英語スピーチコンテスト  
10/26(土) 9:00~13:00 要申し込み

学校説明会 10/27(日) 9:30~11:30  
要インターネット事前申し込み

美術科体験授業  
11/4(月) 9:00~11:00  
要インターネット事前申し込み

入試説明会 11/30(土) 9:30~11:30  
要インターネット事前申し込み

美術科卒業制作展は愛知県美術館が会場となります。  
その他のイベントは全て東邦高校が会場となります。



### 【お問い合わせ】

東邦高等学校

TEL: 052-782-1171 (代)